

## 平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 2 月 1 日から平成 27 年 1 月 31 日まで)

### ①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 114 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。

日時 平成 26 年 4 月 3 日～5 日

場所 国立京都国際会館/グランドプリンスホテル京都（京都市）

参加者数 14,125 名 演題数 3,444 題

テーマ 「外科学の最前線—地域医療と高度医療の連携—」

### ②機関誌、論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 26 年 2 月 10 日	115	臨時増刊 1	39,900
平成 26 年 3 月 1 日	115	2	38,300
平成 26 年 3 月 15 日	115	臨時増刊 2	39,300
平成 26 年 5 月 1 日	115	3	38,400
平成 26 年 7 月 1 日	115	4	38,500
平成 26 年 8 月 15 日	115	臨時増刊 3	38,100
平成 26 年 9 月 1 日	115	5	38,100
平成 26 年 11 月 1 日	115	6	38,200
平成 27 年 1 月 1 日	116	1	38,300

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」のリニューアル内容および印刷出版会社を検討し、印刷出版会社は「大村印刷株式会社」で決定した。

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 26 年 2 月 1 日	44	2	40,000
平成 26 年 3 月 1 日	44	3	40,000
平成 26 年 4 月 1 日	44	4	40,000
平成 26 年 5 月 1 日	44	5	40,000
平成 26 年 6 月 1 日	44	6	40,000
平成 26 年 7 月 1 日	44	7	40,000
平成 26 年 8 月 1 日	44	8	40,000
平成 26 年 9 月 1 日	44	9	40,000
平成 26 年 10 月 1 日	44	10	40,000
平成 26 年 11 月 1 日	44	11	40,000
平成 26 年 12 月 1 日	44	12	40,000
平成 27 年 1 月 1 日	45	1	40,000

- ・Official Journal「Surgery Today」の表紙を変更した。

- ・英文による Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして創刊した。

発行年月日	巻	号
平成 27 年 1 月 17 日	1	1

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行った。
- ・日本医学会、日本医学会連合、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
- ・外科系 16 学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・標準手術ビデオを 5 本作成して、ビデオライブラリーに収載した。  
瀬戸 泰之（東京大学）  
「食道胃接合部癌に対する手術」
- 池田 正（帝京大学）  
「異常乳頭分泌に対する乳管線葉区域切除術」
- 後藤 満一（福島県立医科大学）  
「広範囲胆管癌に対する肝臍同時切除術」
- 松居 喜郎（北海道大学）  
「大動脈弁形成術を伴う Remodeling 法による弁温存大動脈基部再建術」
- 松原 久裕（千葉大学）  
「食道癌に対する右開胸による 3 領域リンパ節郭清における統合化した低侵襲手術」
- ・日本女性外科医会と協働で、仕事と生活の実態調査についての会員アンケート調査を行った。
- ・千葉県病院局の依頼を受けて、千葉県がんセンターにおける腹腔鏡下手術の死亡事例に対する医学的・専門的な検証を行った。
- ・National Clinical Database (NCD) の協力を得て、日本消化器外科学会と協働で全国消化器外科領域腹腔鏡手術の現況に関する調査を行い、調査結果をホームページに公開した。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第 4 条第 5 号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定した。
- ・わが国のおこなう新しい専門医制度構築に向けて、会員に不利益が生じないように毅然とした姿勢で一般社団法人日本専門医機構に参加し、「外科専門医研修プログラム整備基準」などを検討した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第 4 条第 6 号）

- ・「外科研究の利益相反に関する指針」に則り、該当者から利益相反自己申告書を回収した。

- ・第12回臨床研究セミナーを下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。

日時 平成26年4月5日

場所 国立京都国際会館（京都市） 参加者数 614名

- ・第13回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共に下記のとおり行った。

日時 平成26年11月22日

場所 郡山市民文化センター（郡山市） 参加者数 128名

- ・第21回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰した（5名）。

矢野 孝明（特定医療法人社団松愛会 松田病院）

A prospective study comparing the new sclerotherapy and hemorrhoidectomy in terms of therapeutic outcomes at 4 years after the treatment 44: 449-453

宮崎 安弘（大阪大学大学院医学系研究科外科系臨床医学専攻外科学講座 消化器外科学）  
Magnetic resonance imaging for simultaneous morphological and functional evaluation of esophageal motility disorders 44: 668-676

張 性洙（高知医療センター）

Novel therapeutic approach for pulmonary emphysema using gelatin microspheres releasing basic fibroblast growth factor in a canine model 44: 1536-1541

石丸 和彦（大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科）

Functional and pathological characteristics of reversible remodeling in a canine right ventricle in response to volume overloading and volume unloading 44: 1935-1945

池上 徹（九州大学大学院消化器・総合外科）

A high MELD score, combined with the presence of hepatitis C, is associated with a poor prognosis in living donor liver transplantation 44: 233-240

- ・第114回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給した。

福本 巧（神戸大学肝胆脾外科）

「腫瘍栓合併肝静脈根部大型肝癌に対する外科治療」

金谷誠一郎（大阪赤十字病院外科）

「腹腔鏡下幽門側胃切除後の再建法—リニアステイプラーを用いた体腔内吻合—」

長谷川 傑（京都大学消化管外科）

「直腸癌に対する安全で局所再発率の低い腹腔鏡下低位前方切除を目指して」

江畠 智希（名古屋大学腫瘍外科）

「肝門部領域胆管癌に対する肝切除+肝動脈切除」

椎谷 紀彦（浜松医科大学第1外科）

「TEVAR後のopen revision手術」

中村 廣繁（鳥取大学胸部外科）

「呼吸器外科におけるロボット手術の短期成績と上手に行うための工夫」

黒木 保（長崎大学移植・消化器外科）

「当科における腹腔鏡下脾頭十二指腸切除術の現状と今後の展望—導入後の5年間を振り返って—」

竹政伊知朗（大阪大学消化器外科）

「進行結腸癌に対する手術の郭清範囲と腹腔鏡下手術：術前診断に応じた適正なComplete

Mesocolic Excision (CME)」

岡田 一郎 (国立病院機構災害医療センター救命救急センター)

「鈍的外傷に対する外傷チーム診療と初回手術」

橋本 和弘 (東京慈恵会医科大学心臓外科)

「僧帽弁閉鎖不全—複雑病変に対する基本的手技の応用—」

- ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の補助金を支給した (1名).

土岐祐一郎 (大阪大学大学院消化器外科学 II)

「消化器外科領域における周術期肺血栓塞栓症のリスクモデルの構築と薬物的予防法の有用性に関する多施設共同前向きランダム化比較試験」

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の補助金を支給した (5名).

有田 智洋 (京都府立医科大学外科学教室消化器外科学部門)

「血球成分由来 exosome の癌形質への影響について」

石神 修大 (岡山大学病院心臓血管外科教室)

「小児心不全に対する心臓内自己幹細胞移植療法による右室リモデリング退縮効果の解明」

神田 光郎 (名古屋大学医学部附属病院消化器外科二)

「Transcriptome 解析による胃癌細胞の肝転移巣形成責任分子の同定と治療への応用」

須田 健一 (近畿大学医学部外科学講座呼吸器外科部門)

「EGFR キナーゼ阻害剤獲得耐性における分子異常の heterogeneity の検討とその克服」

横堀 武彦 (群馬大学大学院病態総合外科学)

「新型 CTC チップを用いた神経芽腫の循環腫瘍細胞検出キットの開発」

- ・National Clinical Database (NCD) を活用した研究費の補助金支給を検討した.

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第85回卒後教育セミナーを下記のとおり行った.

日時 平成26年4月5日

場所 国立京都国際会館（京都市） 参加者数 1,539名

テーマ 「術前合併症の管理と術式の工夫」

- ・第86回卒後教育セミナーを下記のとおり行った.

日時 平成26年11月22日

場所 郡山市民文化センター（郡山市） 参加者数 239名

テーマ 「若手に教える内視鏡手術の Pitfall—トラブルシューティングとその対応—」

- ・第22回生涯教育セミナーを下記のとおり行った.

テーマ 「若手に伝えるヘモ・ヘルニア手術」

(北海道地区)

日時 平成27年1月10日

場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市） 参加者数 160名

(東北地区)

日時 平成26年9月13日

場所 秋田県総合保健センター（秋田市） 参加者数 85名

(関東地区)

日時 平成 26 年 9 月 27 日

場所 明治安田生命ホール（東京都） 参加者数 259 名

(中部地区)

日時 平成 26 年 9 月 6 日

場所 金沢大学宝町キャンパス（金沢市） 参加者数 107 名

(近畿地区)

日時 平成 26 年 5 月 24 日

場所 大阪国際交流センター（大阪市） 参加者数 324 名

(中国四国地区)

日時 平成 26 年 9 月 5 日

場所 くにびきメッセ（松江市） 参加者数 101 名

(九州地区)

日時 平成 26 年 5 月 10 日

場所 北九州国際会議場（北九州市） 参加者数 89 名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行った。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第 4 条第 8 号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」の運用を図った。
- ・「外科学用語集」の改訂を行った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・広報活動として、第 40 回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。

日時 平成 26 年 4 月 6 日

場所 京都産業会館内シルクホール（京都市）

テーマ 「京大病院におけるがんの外科治療の最前線」

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・厚生労働省の“診療行為に関連した死亡の調査の手法に関する研究班”に参加し、「医療事故調査に係るガイドライン」について検討した。
- ・日本医療安全調査機構に参加し、死因の調査分析事業に協力した。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し、特定看護師（仮称）に関する制度の創設に協力した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 7 号）

- ・役員および代議員を選任した。